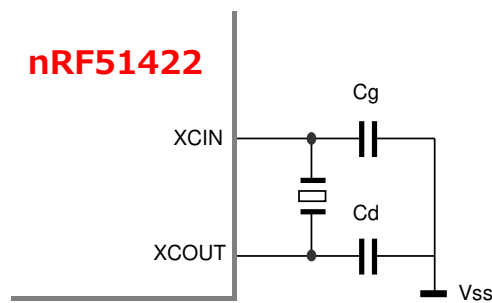


Nordic Semiconductor nRF514シリーズ マッチングデータ詳細

◆発振回路特性の評価項目と評価データ



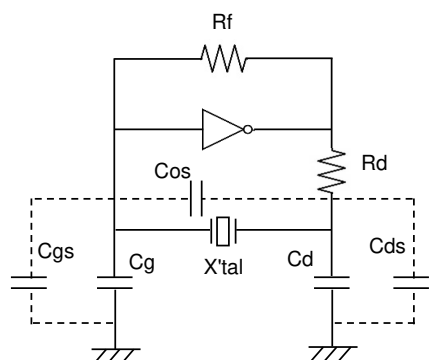
評価項目

No	項目	記号	推奨条件
1	負性抵抗	RL	製品R1規格値の5倍以上
2	発振余裕度	M	
3	励振レベル	D.L	製品仕様内であること。

お客様に安心してお使い頂くため、
5倍以上の発振余裕度を推奨しております。

IC型式	32kHz水晶振動子			外付け素子		発振特性			電源電圧 (V)
	製品名	R1Max. (kΩ)	CL (pF)	Cg (pF)	Cd (pF)	RL (kΩ)	M (倍)	D.L (μW)	
nRF51422	SC-32S	70	9	12	12	-964	14	0.01	3
			12.5	18	18	-560	8	0.01	
	SC-20S	70	9	12	12	-1,023	15	0.01	3
			12.5	18	18	-556	8	0.01	
	SC-16S	90	7	9	8	-1,420	16	0.01	3
			9	13	12	-943	10	0.01	
			12.5	20	18	-536	6	0.02	

◆回路負荷容量について



発振回路には浮遊容量があります。

CL値は浮遊容量を考慮して設定します。

$$CL = Cg \times Cd / (Cg + Cd) + Cs \text{ (pF)}$$

Csは回路の浮遊容量

浮遊容量とは

Cos : 32kHz_IN-32kHz_OUT Stray capacitance

Cgs : 32kHz_IN-Vss Stray capacitance

Cds : 32kHz_OUT-Vss Stray capacitance

:

◆回路基板設計上の留意点

水晶振動子、コンデンサ、抵抗はできるだけChipの近くに配置して配線を短くして下さい。
他の信号線との干渉を防止するために、水晶振動子搭載部（下面）に他の信号線を設けないで下さい。
発振回路の設計についてはHPに記載しております。
その他、回路マッチングサービスもご利用ください。詳しくは営業担当者又はHPからお問い合わせください。

◆注意事項

上記の評価結果は特定サンプル及び「ICメーカー評価ボード」において評価した参考値であり、
お客様の基板設計で変わる場合がございます。
実際の回路基板では浮遊容量等の違いによって外付け素子容量値、特性は変化しますのでご注意願います。